

# 議会の手帖 200

～ いつも市民の一番身近に ・ いぬやま市議会だより ～

2023.2.1



### 10月・11月の各議会で 犬山市のこんなことが決まりました。

10月定例議会

(23日間・10月27日～11月18日)は

○市長提出議案……………17件

○委員会提出議案……………1件

11月臨時議会

(1日間・11月30日)は

○市長提出議案……………1件

が提出されました。

すべての議案名と結果は、  
犬山市議会ホームページをご覧ください。

今号では  
この中から  
3つを選びました

### Pick up 1

## 物価高騰に直面する子育て世帯の 負担を軽減します。

【内容】

子育て世帯の負担軽減策として、昨年12月まで予定していた給食費無料化の期間を、令和5年3月まで延長します。また、児童手当の受給世帯に臨時特別給付金を給付しました。

市内在住の保育園児・幼稚園児・  
小学生・中学生  
※期間：3月まで



給食費 無料化 の対象	市内在住の保育園児・幼稚園児・ 小学生・中学生 ※期間：3月まで
臨時特別 給付金の 対象	昨年8月31日現在市内在住の 児童手当受給者（特別給付者を除く） ※給付日：昨年11月（給付済）

第74号議案 令和4年度犬山市一般会計補正予算（第11号）

第72号議案

犬山市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

### Pick up 2

## 犬山駅東の天神町にある2つの 駐輪場を1つに統合します。

【内容】

天神町地内の駐輪場は、互いに近接した2か所  
にあり利用状況に空きも見られるため、借  
地に設置している第1駐輪場を廃止して市有  
地の第4駐輪場に統合することで、借地料の  
節約を図ります。

こんな質問がきました。

Q 第1駐輪場にある2基の  
街灯は撤去するのか、まち  
の街灯として使えるのか。

A 街路灯のうち1基は直接  
駐輪場の上から照らして  
いるため、地主の名鉄の意  
向により撤去となります。

Q 第1駐輪場の方がより駅  
に近いが、そちらを廃止  
していくことになる。利  
便性は変わらないのか。  
A 2つの駐輪場の入口は30  
mしか離れておらず、徒  
歩1分程度の差で、利便  
性は変わらないと考えて

委員会提出議案

第3号

犬山市議会議員政治倫理条例の制定について

### Pick up 3

## 議会の政治倫理条例を制定しました。

【内容】

政治倫理を確立し、ハラスメントの防止等を  
目的として、議会運営委員会で議論を深め、  
議員が自ら行動を律するための政治倫理条例  
を制定しました。

こんな議論がありました。



詳しい  
内容は  
こちら

○政治倫理違反に対する住民からの審査請求について、必要署  
名数が、他市の例にある「有権者の50分の1」はハードルが  
高すぎる。30人とするのがよい。  
○犬山市独自の制度として、審査請求の前段階で1人からでも  
違反の申立て・陳述ができる制度を設ける。  
○署名を集めて直接請求するほか、議員に依頼して請求する方  
法も設ける。  
○署名審査のため選挙人名簿登録者（有権者）に限る。外国籍  
の人や市外からの通勤者等が議員等の協力を得て請求しやす  
い環境を整えることが今後の課題。  
○審査会では事件の内容に応じ弁護士等の専門家を呼べる制度  
とし、審査の公平性を確保すべき。  
○議員が自らを律することが目的。規定されていることは最低  
限のもの。本来条例は不要という気持ちで取り組むべき。

**A** 歴史的建造物保存修理及び景観形成助成について継続しつつ、新たに木曾川河畔の歩行空間整備を

**Q** 整備完了後の犬山駅周辺地区の更なる魅力向上と発展に向けた、今後の取り組みについて。



加えた、令和6年度からの都市再生整備計画を策定し、魅力向上への取り組みを進めていきます。市長の思いは、木曾川河畔は、国宝犬山城と名勝木曾川という素晴らしいロケーションがあります。単なる歩道を作るのではなく、庭園の中の道を作るつもりで、この歩道の在り方を考えるべきであり、次期整備において重要な意味を成すものです。現在、内田地区のみなさまと一緒にワークシヨップを行っています。

**A** 基本的には、待ちではなく、攻めの姿勢で臨んでいくこと。やれない理由ではなくて、やれる方法を考えるということ。たとえば部分的であっても門戸を広げることによって、可能性はそこから生まれてくるという意識を強くして臨んできました。産業集積誘導エリアでは企業立地が進みま



した。住宅地の立地地域指定では今年4月からこれを進めていますので、効果はこれからではありますが、運用が柔軟化することによって、次の世代につながる可能性があると思っています。どうしたらこの町が豊かになるのかという物差しでルールを運用し、市長も職員も営業マンという意識を持つべきであり、いろんな関わりを幅広く持ちながら、やれること、やれないことを見極めていくことを今後に託したいと思えます。

計都画市

犬山地区の魅力向上について



犬山市民クラブ 柴田 浩行

**Q** 犬山駅周辺地区の整備の概要と進捗について。

**A** 平成31年度から令和5年度迄を計画期間とした都市再生整備計画を策定し、整備を実施しています。主な整備は、福祉会館機能のフロイデへの移転再整備を行った市民交流センター整備。犬山駅西広場整備。ホテルインディゴ犬山有楽苑北側の木曾川河畔のトイレと歩道整備。歴史的建造物保存修理及び景観形成助成。主な整備は今年度で完了します。

AQ

加えた、令和6年度からの都市再生整備計画を策定し、魅力向上への取り組みを進めていきます。市長の思いは、木曾川河畔は、国宝犬山城と名勝木曾川という素晴らしいロケーションがあります。単なる歩道を作るのではなく、庭園の中の道を作るつもりで、この歩道の在り方を考えるべきであり、次期整備において重要な意味を成すものです。現在、内田地区のみなさまと一緒にワークシヨップを行っています。

産計都業画市

山田市政における開発緩和措置の総括について



令和新政クラブ 小川 清美

**Q** 当市は農振農用地や自然公園区域など、近隣に比べて開発規制が厳しい市町と言

える。そつした中であつて、人口減少の抑制やコミュニケーション維持の課題解決に向け、市街化調整区域での建築物の立地規制の緩和に取り組まれた。これらの総括について市長に伺う。

した。住宅地の立地地域指定では今年4月からこれを進めていますので、効果はこれからではありますが、運用が柔軟化することによって、次の世代につながる可能性があると思っています。どうしたらこの町が豊かになるのかという物差しでルールを運用し、市長も職員も営業マンという意識を持つべきであり、いろんな関わりを幅広く持ちながら、やれること、やれないことを見極めていくことを今後に託したいと思えます。

令和4年10月定例議会 主な議案等の賛否（予算以外のもの）

○：賛成 ×：反対 議：議長 除：除斥 退：退席 欠：欠席

議案番号	件名	議決結果	日本共産党犬山市民議団		公明クラブ		犬山市民クラブ		清風会		令和新政クラブ		新犬会		鈴木伸太郎	玉置幸哉
			岡村千里	岡 覚	水野正光	三浦知里	諏訪 毅	柴田浩行	大沢秀教	中村貴文	久世高裕	柴山一生	吉田鋭夫	畑 竜介		
第68号案	犬山市企業立地支援条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第69号案	犬山市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号案	犬山市道路占用料条例等の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号案	尾張都市計画犬山下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号案	犬山市自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号案	工事請負契約の変更について（五ヶ村調整池整備工事）	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
第81号案	犬山市の議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号案	犬山市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号案	犬山市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第3号	犬山市議会議員政治倫理条例の制定について	可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第4号	身体的・精神的理由によりマスクの着用が出来ない子・人やマスクの常時着用により不安や不調を感じる子・人に関する周知についての請願書	趣旨採択	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会の主な議案等にチェック  
提出議案に賛成・反対しました

10月定例議会では、18件の議案のうち17件を全員一致で、1件を賛成多数で可決しました。また、2件の請願のうち1件で、賛成討論と反対討論がありました。討論の内容は下記のとおりです。

討論

「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」の提出を求める請願（請願第3号）	賛成	水野議員	小規模事業者の6割がインボイス対応準備が進んでいない。特に個人事業主への影響は深刻。コロナ禍でのさらなる負担増により地域経済の衰退につながるため中止すべき。
	反対	長谷川議員	本来は令和元年の軽減税率導入時にセットで導入すべきだった制度。影響を最小限にするため経過措置もある。消費税の正確な把握が目的で、税の公平性に立った制度である。



請願はこちら



すべての賛否はこちら

健康 推進

休日診療所の今後について



玉置 幸哉

**Q** 市長は令和2年9月議会  
で休日診療所は必要であ  
りこのサービスをどう  
いった形で展開するの  
が  
良いか絶えず検証と改善  
をやつていき様々な可能  
性を排除せず幅広く研究  
していくと述べているが  
現状の課題についてどの  
様に考えるか。

**A** 開設より41年が経過して、  
躯体的には問題ありませ  
んが内装や設備などに  
ついては老朽化が進んでお  
り大規模な改修が必要な  
時期となっています。ま  
たスタッフの確保にも苦  
慮しています。

**Q** 私は休日診療所の今後を  
3点に絞り提案したい。  
①現在の場所に建替えす  
る。②総合犬山中央病院  
内に設置する。③市内の  
公共施設にその機能を移  
す。

**A** 中央病院に併設して運営  
することは借地料等を考  
えるとメリットは少ない  
と考えます。また医療施  
設の共用は責任の明確化  
において実現は困難です。  
消防本署の建替え時期も  
近くなっているのので、公  
共施設の再配置の観点で、  
いろいろな可能性を排除  
せずに検討していきたい  
と考えます。

防災 交通

災害時の避難所について



公明クラブ 諏訪 毅

**Q** 犬山市として、災害時の  
近隣市町への避難、近隣  
市町からの避難について、  
どのような想定をしてい  
るのか。

**A** 例えば猛烈な台風の直撃  
や近い将来発生すると言  
われている南海トラフ地  
震など被害が大規模かつ  
広範囲に及ぶようなケー  
スでは、状況によっては  
市内の避難所へ避難する  
よりも、近隣市町へ避難  
した方が安全と判断され  
る場合も考えられます。  
こうした想定は、犬山市  
以外の市町村においても  
同じような事態が考えら  
れることから、他市町村  
の避難者を相互に受け入  
れられるよう、事前に協  
定を締結し、災害時に迅  
速かつ臨機応変に対応で  
きる避難対策に取り組ん  
でいるところです。

**Q** 近隣市町との災害協定は  
どの市町と、どのような  
内容で結んでいるのか。  
民間との災害協定はどの  
くらいの件数を締結して  
いるのか。

**A** 平成8年に小牧市、大口  
町、扶桑町等の7市町と、  
平成29年には西尾張の14  
市町村と被災者の受け入  
れ、食糧や生活必需物資  
の提供などの内容で相互  
応援協定の締結をしてい  
ます。民間とは101件  
の協定の締結をしており、  
今年度も新たに4件の協  
定を締結しました。



一般質問

健康 推進 未来

救急医療体制の強化と中核病院との連携強化が必要



犬山市民クラブ 中村 貴文

**Q** 救急医療は公益性が極め  
て高いが、採算性の低い医  
療部門だと認識しており、  
第2次救急医療対策費補  
助金の増額を検討するべ  
きである。

**A** 犬山市が属する救急医療  
圏での補助医療機関は総  
合犬山中央病院・さくら総  
合病院・江南厚生病院があ  
り、3市2町で構成する運  
営協議会において補助金  
を交付します。令和4年度  
は3院計4,304万4,  
000円です。公益性が極  
めて高く安定的体制確保  
の必要から尾北医師会よ  
り増額要望があり、対応を  
検討します。

**Q** 救急医療は公益性が極め  
て高いが、採算性の低い医  
療部門だと認識しており、  
第2次救急医療対策費補  
助金の増額を検討するべ  
きである。

**A** 月頃に完了、グラウンドオー  
プンは令和9年11月頃と  
聞いています。先端医療機  
器補助金は、高度な医療機  
器を導入し医療体制の充  
実の促進と地域医療機関  
への還元など地域医療の  
体制や連携強化など相乗  
効果や共同利用を進める  
ため補助額や機器選定な  
どについて当該病院・地  
域医療機関と協議を進め、  
補助の時期は令和6年か  
ら7年を予定しています。

未来

パパとママの離婚講座について



公明クラブ 三浦 知里

**Q** 離婚を勧める講座ではな  
い。ある程度の知識を持つ  
ことを学ぶ講座である。主催  
する団体に内容を確認した  
ところ、離婚について悩ん  
だ時に受講するのが望まし  
い。受講して離婚をやめた  
人もいる。オンラインの講  
座なので顔を出さなくて良  
いし、仮名でも良い。市  
と共同開催とする事で安心  
感がある。1回2時間程度  
で子どものメンタル、親の  
メンタルについて説明があ  
り、その後、具体的に離婚  
となった場合の条件、養育  
費や親権などの説明、最後  
にひとり親世帯への具体的  
な支援をお知らせする。犬  
山市では、養育費に関する  
公正証書等作成補助金と養  
育費保証契約保証料補助金  
の2つがひとり親支援とし  
て始まった。離婚講座も開

**A** 催してはどうか。  
離婚を検討している人に予  
備知識が必要で、中には思  
い留まるケースもありま  
す。制度の周知方法など工  
夫できるような研究してい  
きます。

**Q** 総合犬山中央病院の建替  
えスケジュールと先端医  
療機器補助金事業につい  
て示してほしい。

**A** 令和5年12月頃から新館  
建設に着手し令和7年9



**Q** 総合犬山中央病院に委託  
する病児保育はいつから  
始めるのか。

**A** 令和6年4月開始予定で  
す。



一般質問

計都  
画市

市内にあるブロック塀への  
対策を進めませんか



令和新政  
クラブ  
長谷川泰彦

Q 基準に適合していないと思われるブロック塀の点検と安全対策に向けた所有者への啓発と周知についてどう取り組んでいるか。

A 市内小学校周辺の通学路を優先的に点検を実施し、基準に適合していないと思われる箇所の所有者へは安全性の確保に向けたチラシや撤去に対する市の補助金制度のパンフレットをポスティングして啓発しています。

Q 所有者の方からは、チラシや案内は見たことが無い、知らないとの話も聞かれる。市から戸別訪問をして、安全確保の周知や補助制度を説明することは、取壊しへの意識を促す上で必要ではないか。戸別面談では1件あたりの時間が増大し点検範囲

を絞ることが生じるため、少しでも早く数多くの所有者に啓発すること、地域での防災意識の高まりを図っていくことも重要と考えています。

Q 補助制度ができて6年間で46件が制度を利用され、残る294件を今のペースでは38年以上かかる計算となり、安全対策が進んでいないと推測するが、制度の充実に向けてはどう考えるか。



推健  
進康

ペットのふん害について



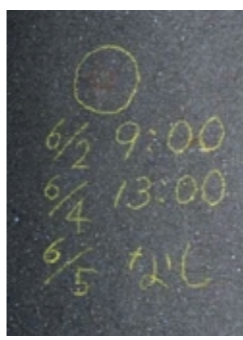
令和新政  
クラブ  
畑 竜介

Q 最近、ペット散歩中の飼い主マナーが断然良くなってきていると感じているが、ふんが落ちていたり家の敷地内にされたという相談を未だに聞く事がある。当市としても平成10年に飼い犬等のふん害の防止に関する条例を策定し、マナー啓発看板の配布などを行っているが、これまでの取り組みの経過と内容について問う。

A 市としては、啓発看板の配布等の他に、令和3年度には町内会が路上に放置されているふんを、目立つようにチヨークで囲うことで飼い主に対し自発的な回収と、再度放置しないように促す活動である「イエローチヨーク作戦」を開始しており、活動の届出書を保健センターに提出してもら

うことで活動に使用するチヨークやマナー向上の為の配布用チラシを提供しています。

Q イエローチヨーク作戦の効果について問う。



総務

犬山市と弁護士の  
かわりについて



清風会  
柴山 一生

Q 市は昨年採用の嘱託弁護士と相談弁護士及びその他の弁護士に法務をどのように分担しているのか。

A 平成29年度から相談弁護士である山本弁護士には行政上の様々な相談を、嘱託員の渡辺弁護士には困難事例をつくらないための初動対応のサポートや、業務上での法的な不安の早期解消のための相談に加え、契約書や例規の内容のチェックをお願いしている。代理人などという形で、お二人以外の弁護士と契約する場合もある。

Q 弁護士に相談する基準と委託後の市の対応について、できる限り市職員が市民対応すべきと思うが、どの段階で弁護士にお願いするのか、そして委託後、市はどのようにかか



わるのか。委託したら、市の手から離れるということか。

A 代理人をお願いするケースは2種類。1つは、訴訟の提起。もう1つは、市職員が長時間の対応や複数の人数を費やさなければならなくなった対応困難ケース。具体的な基準は定めていない。委託後であっても市は常に対応を弁護士と共に進めている。

地協  
育校 学協

パートナーシップ・ファミリー  
シップ宣誓制度導入の検討を！



日本共産党  
犬山市議団  
水野 正光

Q パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度は日本では最初に東京都渋谷区で条例で、世田谷区では要綱で創設された。現在、全国では239の自治体で導入されている。愛知県では岡崎市・春日井市など14市町が導入している。市議会では、市民フリースピーチで当事者が発言され、総務委員会でも調査研究している。市として導入を検討されているか。

A 多様な人々がすべて不利益なくサービスが受けられることが前提で、LGBTQ対応など全庁的に点検し、窓口における申請の性別表記などの改善を行いました。制度の導入は、地域社会の仕組みとして位置づけ、性的マイノリティに対する

支援の研究を進めます。性的マイノリティの人への不利益や配慮を欠くことがあってはならないと総点検を市長から指示しています。

Q 中学校ではブレザー・スラックスのジェンダーレス制服を導入されたが、学校現場ではLGBTQ教育としてどのような取り組みがされているか。


A ブレザー型制服を選択できるよう導入しました。アンケート調査を実施し課題を明確にしました。当事者の方や人権活動の方の講演会の実施も大事だと考えています。



一般質問

産業

**野生イノシシが生活圏に迫っている問題について**



犬山市民クラブ  
大沢 秀教

**Q** 令和元年から、わな猟の狩猟免許を取得する際に費用の補助をしているが、わな免許の取得と補助の状況はどうか。

**A** 有害鳥獣駆除の実施を宣誓していただいたわな免許取得者が補助対象で、令和元年度2名、2年度4名、3年度1名でした。今年度は1件の申請と、10件の問い合わせがあります。

**Q** 今後、わな免許の更新費用についても補助対象としてはどうか。

**A** わな免許3年間の有効期間を更新するための経費の補助については、効果の検証・分析を行い、検討していきます。


**Q** イノシシが人間の生活圏に迫ってきている。出会ってしまいかもしいれないという意識や、駆除捕獲のためのもわなも危険であるという危機意識を持つていただく必要があるのではないかと。

**A** イノシシの出没事例に際した正しい対処法をわかりやすく提供できるように、周知の工夫を図ります。必要に応じてわなを仕掛けた場所には注意看板も設置していますが、わなの危険性についても写真やイラスト等を用いて分かりやすい周知を図っていきます。



都市計画  
経営改善  
企画広報

**人口減少時代における犬山市の未来を考える**



鈴木伸太郎

**Q** 現在73千人の犬山市の人口は、2060年には51千〜61千人と大幅な減少が予測されている。今までは違う考え方、施策が必要。今回は①定住人口減、②利用者減、③担い手減、④労働人口減、⑤税収減、⑥人口減少抑制策、⑦市役所の組織改革、以上の観点からの今後の考え方を問う。

**A** ①空き家、所有者不明土地増が課題と認識しています。空き家バンクをはじめ現在の取り組みを粘り強く継続していきます。

②公共施設については、福祉会館など統廃合を積極的に進めてきました。今後も引き続き取り組んでいきます。公共交通については、複数の交通機関の予約や支払いが一括できるようなシステムを目指します。上下水道


は、施設の更新を積極的に進めていきます。③地域活動や地域文化の担い手掘り起こし、継承者育成に取り組んでいきます。

④企業に対しては各種補助制度等を用意しました。耕作放棄地対策も進めています。⑤固定資産税増のための企業誘致、土地利用促進を進めます。⑥出生率向上や子育て支援の他、市内外にまちの魅力を情報発信、住居確保に引き続き取り組んでいきます。⑦今後も他市町との事務の共同化、システムの共同調達を進めます。



福祉

**生活保護の相談者にやさしく信頼される対応を！**



日本共産党  
犬山市議団  
岡村 千里

**Q** コロナ禍や物価の高騰などで多くの人たちが生活困窮で苦しんでいる。生活保護の窓口では、市の担当職員が様々な相談者への対応をしているが、困難を抱える人に寄り添うことは難しい。ケースワーカーの人数や相談体制はどのようになっているか。

**A** 当市では、ケースワーカーは3名配置しており、うち1名は女性です。ケースワーカー1人あたりの被保護者は平均70・6世帯で人数は87・6人です。基準は満たしていますが、多様化する相談内容や急増する申請件数により、十分な対応が困難な状況です。

**Q** 福祉専門職の採用、ケースワーカーの増員が必要ではないか。

**A** 当市では、幅広い福祉、医療、社会保障に関する重層的支援体制の整備を図るため、現在社会福祉士6名が勤務しており、そのうち福祉課に3名配置しています。社会福祉士の需要は年々増えており、その必要性から、来年度さらに1名の社会福祉士を増員する予定です。



環境

**かつての「エコアップ課」にもっと光を当てた行政を**



日本共産党  
犬山市議団  
岡 健二

**Q** かつての「エコアップ課」は「犬山の自然をたずねて」の小冊子を19冊出している。増刷版や改造版を出すなど、もっと利用したらどうか。

**A** 発行から相当の年数が経過して、修正が必要な内容も含まれています。増刷や改訂は予定していません。市ホームページで「犬山の自然をたずねて」の一部コースを掲載していますが、さらに内容の追加掲載を検討していきます。

**Q** 環境分野でSDGsなども視野に入れた新たな活動を展開していくべきではないか。

**A** 第2次犬山市環境基本計画では基本目標と目指すべき姿を5つ掲げ、それぞれに10年後の将来イメージを描き、関連する

SDGsの目標と生活指標を示しています。

SDGsも視野に入れた環境分野の担い手をつくらせていくことが重要です。また、SDGsの概念を環境分野以外の分野でも計画をつくりアクションにつなげていくべきだと思っています。加えて、犬山らしいSDGsの展開ということを考えた場合、それは「教育」だと考えます。環境教育も、障がい者への対応もLGBTQや多様性などへの対応も教育が全ての土台だと思っています。





令和4年12月14日（水）議員と市役所若手職員との意見交換会を実施しました。意見交換は「若者が政治や市政に関心を持ち参加するためには」などをテーマに行われ、職員からは若者ならではの視点で、様々な意見が出されました。その一部をご紹介します。

## 議員と市若手職員との意見交換会を実施

○政治への関心、イメージは？  
 ・いま政治が何をやっているのかを知る機会が少ない。若者は新聞を読まない。  
 ・政治への無関心は時代のせいか？他国の若者はもっと関心がある。  
 ・女性議会はよい取り組み。参加者を若者に限定した同様の機会があるとよい。子育て中の人も。それぞれに関心分野がある。  
 ・市長が変わったことを知らない人もいるのでは。職員は市政に関わって話をする機会があるが、一般の若者にはない。  
 ・学校で仕組みは習うが、抽象的なイメージしかない。市長や議員の「人」を知る機会がないと具体的な関心が持てない。

○選挙の投票率が低くなっている。  
 ・若者に議員がどんなことをしているか伝えるのが大切。  
 ・選挙に行くメリット、行かないデメリットがない。若者のメリットが分かりにくい。年配の方が行くのは得になることがあるから。  
 ・議員や市長が若いと関心が高まる。自分と同じ年代の候補者の存在は大きい。  
 ・議員が生き生きと活動していると、やりがいのある仕事と分かる。  
 ・SNSを活用するとよいが、情報発信しても見つけてもらえない。受け手に受け取る気がなければ意味がない。

○情報発信について。どうやって「知ってもらおう」か。  
 ・女性議会や市民フリースピーチはよい取り組みと思うが、今回調べたまで知らなかった。いかに周知するか。  
 ・情報発信を増やしても変わらない。知りたいことは自分で検索するので意味がない。  
 ・LINEの文面が堅い、長い。情報が埋もれてしまう。伝わるためには時間帯や文面に工夫がもつと必要。  
 ・若者は関心がないと動かないが、興味を持つと自分で調べる。情報はあがるが検索しにくい。検索して調べやすい情報の提供も重要だ。

## 一般質問

管士  
理木  
公園の魅力向上に向けたサウン  
ディング型市場調査について



清風会  
久世 高裕

Q 山田市政の中でさまざまな公的資産の民間連携が進んだが、公園についてはまだ進んでいない。今年度実施したサウンディング調査の結果を見ると、内田防災公園ではドッグランやカフェ、ひばりヶ丘公園ではスケボーパーク、木曾川緑地ではグラウンピングなど多様な提案がされている。以前「良いものを作るためには民間丸投げではなく行政投資も必要」と指摘したが、それには様々な課題もあるため、まずはモデルとなる公園を絞り、実証実験を進めてはどうか。

A 市場調査により、当市において民間連携を進めていくためには、カフェやグラウンピングなどの整備を単純に民間が投資してくれることなく、市

としてもそれなりの財政負担が前提になることが整理できました。費用対効果を上げるため、例えば子育て事業との連携など複合的な政策展開も検討し、当市として基本的な方針を整理し、財政的な判断を含めて魅力ある公園づくりを検討していきたいと考えています。ご提案のモデル事業にしていくかということについては、進めていける一つの方法だと考えています。



福祉  
高松者  
支援  
犬山市の福祉について



清風会  
吉田 鋭夫

Q 福祉のタウンミーティングの状況と成果については。  
 A 参加者は55名でした。課題を「他人ごと」でなく「自分のこと」として捉えた意見を聴くことができました。現在策定を進めている地域福祉の計画に反映させていきます。

Q 介護保険制度が2000年に始まり、3年ごとに改正されているが、事業所との情報伝達の体制はどのようになってきているのか。  
 A 市内約100事業所を対象に国の通知に基づいた集団指導をし、約70の事業所が加盟の「犬山市介護サービスマネジメント協議会」の会議にも参加して情報共有をしています。

Q ケアマネージャーの不足が言われているが大丈夫か。  
 A 現在はありませぬ。しかし、離職防止、定着促進を図り、人材確保・育成を目的に、令和5年度から実施できるように事務を進めているところです。

Q ケアマネージャーの資格更新・新規取得研修の補助制度はあるのか。  
 A 現在はありませぬ。しかし、離職防止、定着促進を図り、人材確保・育成を目的に、令和5年度から実施できるように事務を進めているところです。



## 常任委員会 行政視察結果報告

常任委員会の行政視察は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ実施を見送っていましたが、今年度は3年ぶりに実施しました。犬山市では議会改革の一環として委員会での議員間討議や調査研究を重視し、各常任委員会は毎年テーマを定めて調査研究活動を行っています。委員会から提出された視察報告書をご紹介します。

### 総務委員会

日程 10月4日(火)  
5日(水)  
視察先 茨城県取手市・常総市

1日目は茨城県取手市にて「オンライン委員会について」とオンライン会議の実現に向けて」をテーマに視察を行いました。取手市議会では、令和2年4月にオンラインでの「新型コロナウイルス感染症対策会議」を行い、そこから議会・議員の皆さんがオンライン会議の有用性を感じ、積極的な活用が始まったとあり、その後、ICT

やオンラインを用いた委員会や会議が活発に行われているとの説明がありました。

2日目は茨城県常総市にて「災害犠牲者ゼロを目指した防災まちづくりについて」をテーマに視察を行いました。平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨」で受けた常総市の被災状況や、災害発生時の活動状況についての説明後、被災された地区の自主防災組織の事務局長より、被災後の地区での防災活動の取り組みについて、説明がありました。

今回の視察を通して得られた成果を、今後の委員会活動に生かしていきます。



## 民生文教委員会

日程 10月3日(月)5日(火)  
視察先 東京都日野市・千葉県君津市

1日目は東京都日野市を訪問し、発達面、行動面、学習面において支援を必要とする子どもと、子どもの育ちに不安を抱く家族に対し、福祉と教育が一体となった相談と支援を行うことにより、子どもの健全な成長を図ることを目的に設置された施設を視察しました。相談・支援事業ともに様々な悩みに対応することができるとの報告が聞かれました。また公立と民間の共存から、情報交換や期待されていると説明を受けました。

2日目は千葉県君津市で、公立保育園の民営化によって、新たな保育サービスが市に提供される取り組みの事例を視察しました。民間による施設整備やコスト意識の高い運営により、市の財政的負担の軽減が図られています。また公立と民間の共存から、情報交換や期待されていると説明を受けました。



## 建設経済委員会

日程 10月5日(水)  
視察先 岐阜県岐阜市

長良川の鵜飼について視察しました。ピーク時は3万7千人の乗船がありましたが、近年は7万6千人まで落ち込み、コロナ禍においては1万5千人まで減少。また船頭の育成についても技術の継承は上手くいっていない状況です。事業の規模感の違いはありますが、当市の抱えている課題と同じです。しかし岐阜市では集客増加のため観覧船の高級化をするなどして、今年度の乗船数は5万人ほどに達するとのこと。

また、船頭に関しては大学生へ積極的に声をかけることで、アルバイトとして雇用し今年度は船頭全体の2割弱を占めています。鵜飼観光全体で観光客をもてなそうとしている様が印象的でした。ハード的な面では真似できないことも多いですが、ソフト面は見習うところが多くありました。

遊覧船事業の他にも、船上での落語や夏場に船を係留してのビアガーデンなど、新たなコンテンツを制作して鵜飼と合わせた事業展開を考えていきたい。また、高級船に関しましては、設えだけでなく乗船体験そのものを特別にするような工夫をしたいと考えます。





# 表紙写真を募集します!!

犬山市議会では、より市民に親しみを持って読んでいただくための取り組みとして、次号の表紙写真の募集をします。

## ●募集要件

- ・縦撮りを原則とし、圧縮等をしていない高画質画像
- ・データでの提供が可能。
- ・犬山市内で撮影し、かつ、著作権の侵害に該当していないもので未発表のもの。
- ・(人物を含む場合には本人の承諾を必ず得ること。)
- ・表紙に合わせるための画像の微調整に同意できる。
- ・写真使用料は無償とすることに同意できる。



## ●応募方法

- ・期限 令和5年3月17日(金)まで
- ・提出先 犬山市議会事務局
- ・方法 住所・氏名・連絡先・写真テーマ名を記入して、写真データを添付しメールで応募
- ・選考結果 採用された方には犬山市議会事務局より連絡します。結果発表は掲載をもって代えさせていただきます。



## 編集後記

市議会広報委員会  
諏訪 毅

「いぬやま市議会だより」は、今号で記念すべき200号を迎えることになりました。

これまで市議会だよりによりに携われた議員の皆様、職員の皆様、何より毎号手に取って読んでいただける市民の皆様のおかげです。

今後も広報委員として、市民の皆様様に議会の事をわかりやすく伝え、議会を少しでも身近に感じていただけるいぬやま市議会だより「議会の手帖」の編集・発行に努めてまいります!

### 広報委員

- 委員長 玉置幸哉
- 副委員長 畑竜介
- 委員 大沢秀教・岡村千里・久世高裕・諏訪毅

## —犬山市議会からのお願い—

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、議場で本会議を傍聴される場合には、

- ①マスク等の着用
- ②入口に設置してある消毒液で手指消毒をしてから入場

をよろしくお願いいたします。  
YouTubeでのライブ配信もしていますので  
ご利用ください。

詳細はこちらへ→



## 次回 2月定例議会 日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24	25
		再開			補正予算	
26	27	28	3/1	2	3	4
				一般質問		
5	6	7	8	9	10	11
	一般質問		議案質疑		全員協議会	
12	13	14	15	16	17	18
		委員会			最終日	

今号の表紙  
酒井工様の撮影された「雪化粧」を使用させていただきました。ありがとうございました。